

●日ごろからの備えが大切です

災害時の対応を家族で確認

「高山市ハザードマップ」で危険箇所や避難所、避難経路を確認するとともに、「高山市避難マニュアル保存版」で、災害時の家族の集合場所をあらかじめ相談したり、災害伝言ダイヤルの使用方法なども確認しておきましょう。

また、避難するときすぐに持ち出せるよう、「非常持出品」を準備しておきましょう。
耐震化や情報入手手段を準備
住宅の耐震化や家具の固定な

どのほか、高山防災ラジオの設置など、災害情報の入手手段を準備しておきましょう。



ハザードマップ④と避難マニュアル
市役所または各支所でお渡しができます

●地域の自主防災活動に参加しよう

阪神・淡路大震災を機に、「自分たちのまちは自分たちで守ろう」という意識のもと、高山市内の全町内会を基本として292の自主防災組織が結成され、地域防災活動の中心的な役割を担う組織として活動しています。

災害が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには、地域住民による防災活動が大変重要となります。地域で行われる防災訓練や防災講演会などに参加し、地域ぐるみで防災活動

に取り組んでいきましょう。



広瀬町町内会(国府町)で行われた
自主防災組織による防災訓練

さまざまな 媒体でお知らせする 災害時の情報

非常食などの備蓄も進めています

音声や画像で伝える 災害情報

災害時には、正確な情報を早く入手することが重要です。市では、災害時の情報について、いろいろな媒体を使ってお伝えします。詳しくは高山市避難マニュアルでご確認ください。

防災情報の入手手段

①防災行政無線 防災行政無線からの放送に注意しましょう。聞き逃しても3516000で聞くことができます(有料)。

②高山防災ラジオ 緊急防災情報などを自動で放送し、屋内で防災情報を得るに非常に有効なラジオです。まだ設置されていない場合は、早めに電機商業組合加盟店へご相談ください。(16頁参照)

③安全安心メール 携帯電話で「安全安心メール」に登録しましょう。災害に関する情報をメールで

お知らせします。
④エリアメール NTTドコモのネットワークを使ったサービスで、災害発生時に携帯電話のメール配信で避難情報をお知らせします(対応機種のみ)。

食糧や生活用品を 各地域ごとに備蓄

市では、災害時に必要な食糧や生活用品などを各地域ごとに備蓄しています。

食糧関係(1人3食分)／アルファ化米、みそ汁、粉ミルク、クラッカーなど **給水関係**／浄水装置、給湯器など **避難所救護所関係**／毛布、カイロ、間仕切り、仮設トイレ、発電機、投光機、エアータントなど **衛生用品関係**／おむつ(大人用、子ども用)、生理用品、マスクなど **生活用品関係**／ラップ、アルミ箔、ビニール袋、トイレットペーパーなど



災害備蓄品のエアータント。
機動性が良いことが特徴